

柵原地域義務教育学校 校名候補選考結果

美咲町柵原地域義務教育学校開校準備委員会
総務・PTA部会

順位	校 名 候 補 （選考意見）	
1	校名候補	美咲町立 柵原学園
	応募者の校名に込めた思い	○ 慣れ親しんだ柵原の地名を残したい。 ○ 歴史的にも価値があり、地域に根付いている柵原の呼び名を後世に残していきたい。 ○ ふるさと柵原を思い、大切にしてほしい。 ○ 柵原という地名に誇りを持って、地域を大事にできる子どもになってほしい。 ○ 歴史ある地名とふるさとの歩みを引継ぎ、新しい中にも古きを大切にする学校をつくってほしい。 ○ 柵原という名称を使うと、地域と一緒につくっていくというイメージがある。 ○ シンプルで分かりやすく、覚えやすく、親しみがある。 ○ かっこいい名前だから。
	選考意見	○ 柵原という名称は必要である。 ○ 応募件数が圧倒的に多く、シンプルでよい。 ○ 「柵原学園（仮称）」という名称がすでに浸透しているため、年齢層を問わず支持率が高い。 ○ 「学園」は、小中が一緒になった義務教育学校をイメージさせる。
2	校名候補	美咲町立 柵原みらい学園
	応募者の校名に込めた思い	○ 柵原の未来をつくる私たちが、楽しい学校生活の中で学んだことを将来に生かせるような学校にしたい。 ○ 全校で仲良く明るい未来をつくっていききたい。 ○ 柵原の明るい未来をみんなでつくりたい。 ○ 柵原の未来をつくる子どもたちが、生きいきと学べる学校になってほしい。 ○ 未来に向かって進んでほしい。 ○ 未来ある柵原の子どもたちがのびのびと通える学校になってほしい。
	選考意見	○ 「みらい」という名称が義務教育学校という新しい学校をイメージさせる。 ○ 未来を見つめ、未来に向かって進んでほしい。 ○ 平仮名の「みらい」を使うことによって柔らかなイメージになる。 ○ 児童からの応募が多く、子どもたちの思いが伝わってくる。

順位	校 名 候 補 （選考意見）	
3	校名候補	美咲町立 柵原学舎
	応募者の校名に込めた思い	○ 「学園」は都会的なイメージがあり、「学舎」にすることで豊かな自然の中で子どもたちがのびのびと学び、学校の中だけでなく地域の人とのつながりの中で生きていく力を育み、心豊かに育っていく様子を想像した。
	選考意見	○ 「学舎」は柔らかいイメージがあるとともに、歴史や豊かな自然の中の学校を感じさせ、子どもたちがのびのびと成長していく様子を連想させる。
4	校名候補	美咲町立 柵原夢学園
	応募者の校名に込めた思い	○ 「柵原ドリーム学」を通して、夢を育む児童生徒になってほしい。 ○ 町第三次振興計画に「みんなの夢を育む」とあり、3校共通の学校教育目標も「夢に向かい」だから。 ○ 子どもたちが将来に希望を持ち、自分たちの生活や地域の課題をより良くしていけるように。
	選考意見	○ 子どもたちが、それぞれの夢の実現に向けて頑張ってもらいたい。 ○ 「柵原ドリーム学」を通して、地域を愛し、未来を創造する力を身に付けてほしい。

総 括 意 見

令和6年4月に開校を予定している柵原地域義務教育学校の校名について、応募用紙及び電子申請システムにより令和3年11月11日から12月10日の1カ月間募集を行い、合計380件の応募があった。

様々なアイデアを凝らした校名が応募され、それぞれの応募者の思いが伝わってきた。校種に係る校名表記については、「美咲町立〇〇学園」が圧倒的に多く、続いて「美咲町立〇〇小中学校」が多かった。校名としては、「柵原学園」「やなはら学園」が最も多く、「柵原小中学校」が続いた。また、柵原地域の「柵原」ともう一つの言葉を組み合わせた「柵原未来学園」「柵原夢学園」や、かつて「星空がきれいに見える地」として指定を受けたことから町民憲章にも「美しい星の導くように」というフレーズがあり「星」を使用したものも見られた。

ほとんどの校名に合併前旧町の名称である「柵原」あるいは「やなはら」の文字が使われており、この点について議論の必要はなかった。漢字表記の場合、町外在住者にとっては読みにくくなるが、あえて漢字を使用することにより、子どもたちが幼少期から「柵原」という地名に親しみ、将来にわたって受け継ぐことができるため、漢字で表すこととした。

分かりやすく、地域に親しまれる義務教育学校に相応しいという視点で、応募者の校名に込めた思い等を参考にしながら議論を行った結果、柵原地域義務教育学校開校準備委員会総務・PTA部会としては、上記のとおり4校名候補を選考した。